油圧ブレーカをうまく使うポイント

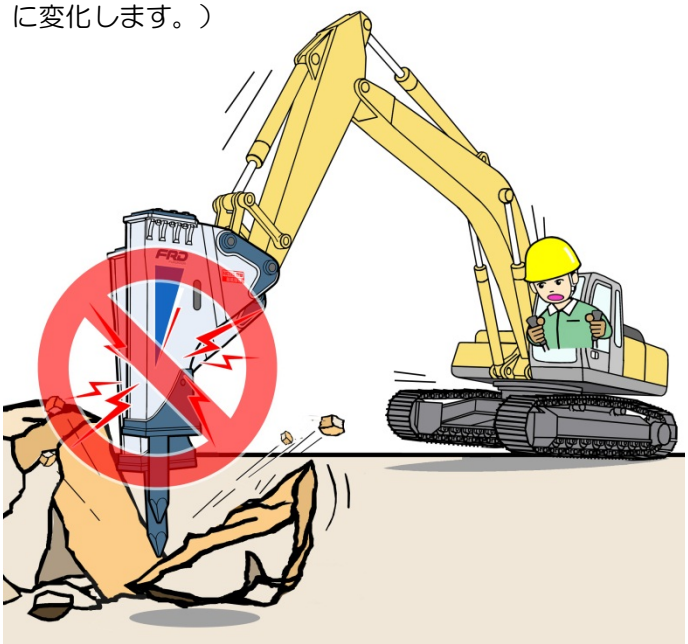
作業前点検を必ず行ないましょう。

- スルーボルトの弛みや折損はありませんか？
- 取付けピン部のストップリングの脱落はありませんか？
- ホースの外傷、ホース金具部より油洩れはありませんか？
- ブレーカ本体からの油洩れはありませんか？
- 各所のボルト・ナットの弛みや脱落はありませんか？
- フロントヘッド部へのグリス給脂は行いましたか？
  作業中は２～３時間ごとにグリスを給脂してください。
- フロントヘッドピン、ストップピン、ロッドピンを止めているラバープラグ、GPSプラグの脱落はありませんか？
- ロッド部からの異常な油洩れはありませんか？
- ロッドの異常摩耗、亀裂はありませんか？
- ロッドのガタツキは大きくなっていませんか？
- 油圧ブレーカモードに設定しましたか？

作業開始する前にブレーカのならし運転をして、作動油を温めましょう。そして、ホースの振れや異音、いつもと違った様子がないか確認してください。

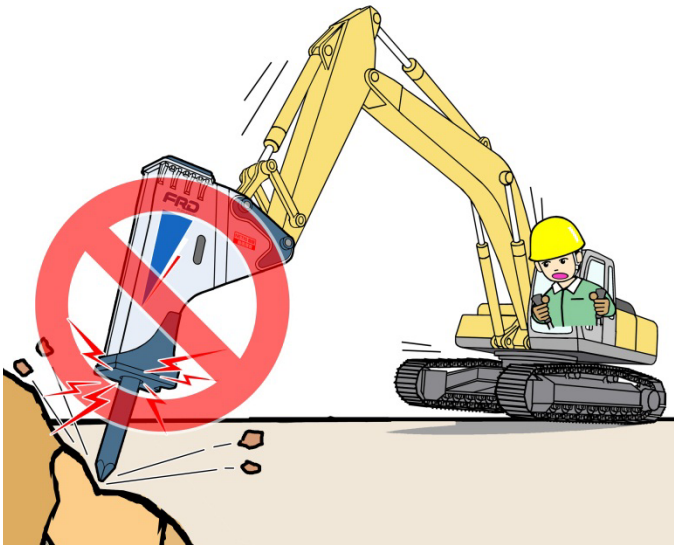
空打ちはダメ！

岩石が破砕したら、すみやかに打撃を停止してください。空打ちはブレーカを傷めます。ブレーカに適正な推力を与えないとき、あるいはロッドをこじって打撃すると空打ち状態になりますので注意してください。
（空打ち状態の場合、打撃音が通常に比べて金属製の音に変化します。）



斜め打ちはダメ！

斜めに当てると、打撃中すべって、ロッドとフロントブッシュがかじったり、ロッドを折損させる原因になります。推力の方向は、ロッドの軸方向と一致するように推力をかけてください。また、ロッドを岩石に当てるときは、できるだけ打撃面に垂直に当ててください。破砕作業を行うときは、十分安定して打撃できる面を選んで、ロッドをしっかり安定させて打撃してください。



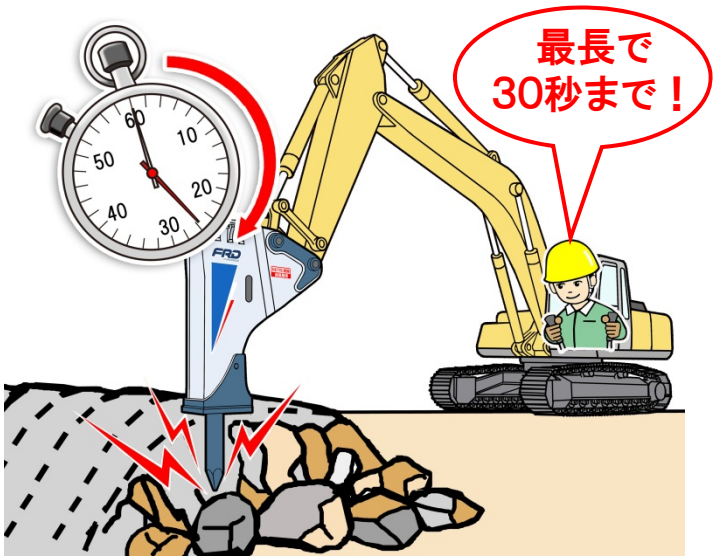
古河ロックドリル株式会社

油圧ブレーカの運転は、安全マニュアル・取扱説明書を読んで十分理解してからにしてください。

油圧ブレーカをうまく使うポイント

連続打撃は最長で30秒まで！

同じ箇所を長時間打撃すると、ロッドの異常摩耗の原因となります。30秒以上の連続打撃はしないでください。割れないときはロッドを当てる位置を変えてください。大きくて、固い岩石などは石目や割れやすい端から順に打撃して破砕すれば、能率よく破砕作業が行えます。



ロッドのこじり作業はダメ！

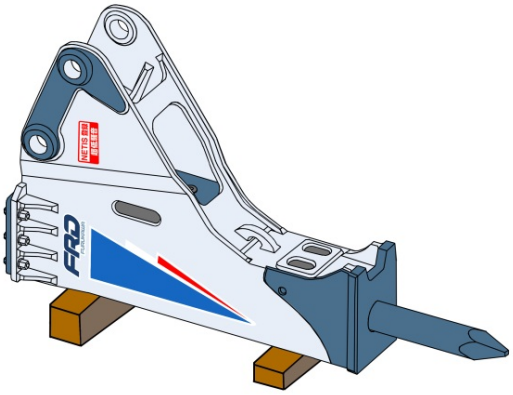
ロッドのこじり作業はしない。下図のように、ロッドをこじって岩石などを破砕すると、ロッドの折損やブラケットおよび油圧ショベルのフレームなどの破損原因となります。
また、油圧シリンダをストロークエンドにしての打撃操作は、油圧ショベルが壊れることがあります。

指定作業以外はダメ！

水や泥の中での破砕作業はしない。ブレーカフロント近くまで水や泥の中で作業するとブレーカ内部に水や泥が入り、ブレーカおよび油圧ショベルが重大な故障につながります。水中作業を行うときは改造が必要です。
クレーン作業等に使用することは禁止されています。

保管時はロッド側を低く！

ブレーカの保管時は、枕木をしいてロッド側が下を向くようにしてください。ロッド部から水がブレーカ内部に入らないようにします。



古河ロックドリル株式会社

油圧ブレーカの運転は、安全マニュアル・取扱説明書を読んで十分理解してからにしてください。